

- ・受診者の呼び出しは受付番号で呼び出す
- ・本人確認を行う

乳がん全摘
 ・下着変更の時行う
 ・画像撮位1枚取り

- ・部屋に入れて、鍵をかける
- ・上の健診着や下着は脱いでカゴに入れてもらう
- ・緑のタオルを胸にかけてベッドに仰向けで寝てもらう

乳がん部分切除
 ・通常通りの検査法、画像保存
 ・切除部位も把握しておく
 (所見入力可下)

- ・QRコードの読み込み、登録、装置へ送信
- ・シールは所見入力用紙へ貼る
- ・乳がん検診の間診票を確認
- ・装置のゲットワークリスト→スタート

- ・検査開始
- ・左から始める。C区域と乳頭直下の画像は必ず保存
 嚢胞は最大径のみ計測
 腫瘍は縦×横×高さを計測、カラー、エラストの画像も保存
 5mm以下cystは所見としてとらないが画像は残す
 前回所見が描出されない時は、その部分の画像を残しておく

全区域に2次元及び3次元は必ず入力

- ・検査終了
- ・胸のタオルでゼリーを拭いて、最後におしぼりで拭きとってもらう(受診者本人に)
- ・チェックシートにハンコを押す
- ・受診者の着替えが終わったらFCへバインダーを渡す
 FCが見当たらない時は一度受診者を待ち椅子に座らせて、FCを探しバインダーを渡す

- ・健診終了後、レポート入力
- ・レポート入力後、入力確認

授乳中、断乳後半年以内
 ・検査コメントに「授乳中」等JXコメント記入
 ・所見は「所見なし」が良い

※レポート作成時の注意点 派遣ID: 95900021

- ・左の所見から入力
- ・所見欄に入力するもの
 部位
 所見
 カテゴリー

所見なしの時はJXコメント入力不要

A判定が入ってしまうので異常なしは使わないこと(所見から所見なしを選択)

- ・検査コメント
 読影医に伝えたいこと
 例)両側5mm以下のう胞あり
 右AC mass 変化なし
 右C 7×5×6mm mass FAうたがしい

一時保存